

## 5. 岩手医科大学医学部（私立） Iwate Medical University

<http://www.iwate-med.ac.jp/>

〒020-8505 盛岡市内丸19-1

電話019-651-5111

共通教育センター、教育課程（矢巾キャンパス）

〒028-3694 紫波郡矢巾町西徳田第2地割1-1

電話019-651-5111

内丸・矢巾間の最寄交通機関による所要時間 約30分

### 1. カリキュラム全般について

#### A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみではなく3年生以上でも行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

#### B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで時々合同で開催される。

#### C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

#### D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を教育要項（シラバス）という。

#### E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらずすべて1年生に入学する。

#### F. 1年生の入学時オリエンテーションは1日間行いが合宿ではない。

#### G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、3年生である。

その期間と内容：

1年生：5日間：本学附属病院内での看護体験実習

1年生：5日間：老健施設における介護体験実習

1年生：4日間：本学附属病院以外の地域密着型病院での地域医療見学研修

3年生：5日間：本学附属病院以外の地域密着型病院での地域医療実習

#### H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

2年生は、平均して週1時間×年間12回である。

3年生は、平均して週1時間×年間12回である。

4年生は、平均して週3時間×年間4回である。

自習用に割り当てられている時間は

2年生は、平均して週4時間×年間6回である。

3年生は、平均して週4時間×年間10回である。

4年生は、平均して週9時間×年間4回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

#### I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを部分的に採用している。

- J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、平成19年に行われ、それにはモデル・コア・カリキュラムを参考にして、独自のカリキュラムを構築している。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・初年次に細胞生物学コースを新設（講座横断的）
- ・医歯薬共通のリベラルアーツのコースを複数同時並行で行う（選択必修）
- ・医歯薬合同のPBL
- ・地域医療教育の充実

- K. 今後のカリキュラム改訂は平成20年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

- ・これまでの講座の枠組みから外れた新コースの設定
- ・ラボ配属の実現

- L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・教育評価方法の確立
- ・e-learningコンテンツの充実
- ・恒常的なFD
- ・選択必修科目の充実
- ・Portfolio評価の導入

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

## 3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。  
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一部が一緒である。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約24%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は27.5%であった。  
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されてはいない。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムはない

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。  
（21日間）  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
5年の時、1週30時間で、36週間である。  
6年の時、1週30時間で、10週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。  
その期間は全部で10週で、そこで行う実習科目は（学生が希望する診療科）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は大学側が支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。

- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

#### 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は行っていない。

#### 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数制、数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）、点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。  
時期は9月、10～11月、1月に、期間はそれぞれ2日、3日、3日で計8日間である。
- D. 6年生の10月以降には、系統講義、試験が組まれている。  
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われることはない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

#### 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

- A. 教員数（平成19年12月現在）

		教養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合計
常勤 (有給専任)	教授		11	25	3		39
	准教授		8	28	2		38
	講師		17	74			91
	助教		17	208	1		226
	その他			0			0
	合計	0	53	335	6	0	394

非常勤 (客員・無給を含む)	教授		2	3		1	6
	准教授			6			6
	講師			204		1	205
	助教						0
	その他						0
	合計	0	2	213	0	2	217

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。(箇条書きで)

年度毎の更新
--------

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

### 9. 学生数 (平成19年12月現在)

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数 (今年度のみ)	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	80	24		0		0	
2	87	23		6	3	0	
3	93	24	2	4	0	0	
4	77	25		3	2	0	
5	87	28		1	2	0	
6	84	24		3	2	0	
合計	508	148	2	17	9	0	0

### 10. 平成19年4月(今年)の医学部受験状況(編入は含まず、1年生のみ)

受験者数1,887名、合格者数138名、倍率13.7倍

入学者数80名、(定員80名、うち推薦入学者数20名)

入学者の状況：現役36名、1浪16名、2浪10名、その他18名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

### 12. 平成18年4月(昨年)の医学部受験状況(編入は含まず、1年生のみ)

受験者数1,807名、合格者数122名、倍率14.8倍

入学者数80名、(定員80名、うち推薦入学者数20名)

入学者の状況：現役24名、1浪15名、2浪16名、その他25名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

### 13. 平成18年(昨年)の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

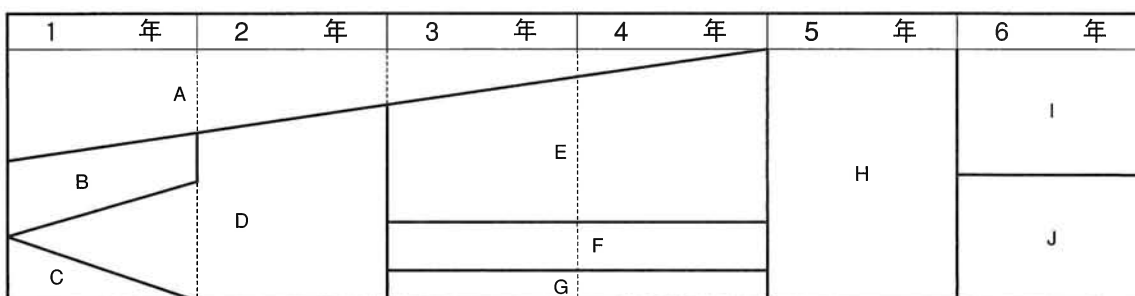
学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		651	204	21
2		○		433.5	384	72
3		○		517.5	354	78
4		○		700.5	114	48
5		○		0	1080	0
6	○			198	300	0

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）



- (註) A：リベラルアーツ  
 B：準備教育  
 C：医療体験学習  
 D：専門基礎医学  
 E：専門臨床医学  
 F：社会医学  
 G：医療体験実習  
 H：臨床実習  
 I：高次臨床実習  
 J：医学知識技能のまとめ

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
骨学	9.0	9.0	18
肉眼解剖学	67.5	124.5	192
発生学	7.5		7.5
組織学	37.5	64.5	102
神経解剖学	13.5	27.0	40.5
神経・筋・感覚器生理学	58.5	45.0	103.5
生体制御・器官生理学	61.5	36.0	97.5
分子生化学・医化学	70.5	51.0	121.5
基礎免疫学	22.5	18.0	40.5
組織病理学・寄生虫学	36.0	9.0	45
分子薬理学・臨床薬理学	60.0	27.0	87
医学微生物学	46.5	45.0	91.5
器官組織病理学	57.0	103.5	160.5
疫学・環境医学	46.5	57.0	103.5
予防医学	33.0		33
法医学	36.0	12.0	48
○基盤医学	24.0		24
医用工学	24.0		24
○臨床総論	21.0		21
○症候学	33.0		33
○循環器病学	43.5		43.5
○血液病学	37.5		37.5
○内分泌・代謝病学	30.0		30
○呼吸器病学	46.5		46.5
○消化器病学	66.0		66
○腎臓病学	31.5		31.5
○神経病学	64.5		64.5
○免疫病学	24.0		24
○感染病学	25.5		25.5
○老年医学	15.0		15
○リハビリテーション医学	15.0		15
内科学第一		60.0	60
内科学第二		90.0	90
内科学第三		60.0	60
神経内科学		60.0	60
糖尿病代謝学		30.0	30
血液病学		60.0	60
外科学		60.0	60
脳神経外科学		60.0	60
心臓血管外科学		60.0	60
整形外科学	34.5	30.0	64.5
形成外科学	21.0	30.0	51
呼吸器外科学		60.0	60
産婦人科学総論	27.0		27
産婦人科学	48.0	60.0	108
小児科学	19.5	60.0	79.5
耳鼻咽喉科学	31.5	30.0	61.5
眼科学	21.0	30.0	51
皮膚科学	28.5	30.0	58.5
泌尿器科学	24.0	60.0	84
神経精神科学	33.0	30.0	63
放射線医学	36.0	30.0	66
麻酔学	27.0	30.0	57
臨床検査医学	19.5	30.0	49.5
救急医学	16.5	30.0	46.5
合 計	1551	1708.5	3259.5

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	882	225	1107
2 学年	433.5	456	889.5
3 学年	517.5	354	871.5
4 学年	700.5	162	862.5
5 学年	0	1080	1080
6 学年	198	300	498
合 計	2731.5	2577	5308.5

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医用（電子）工学（必修）、医学外国語（必修）、医の倫理（選択必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、人類遺伝学（臨床遺伝学）、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、医療安全、緩和ケア、医療経済、医療情報学、高齢医学、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、臨床医学、人間関係学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置していない。